

公立病院改革プランの概要

団 体 名	新潟県						
プランの名称	新潟県病院事業の取組方針						
策 定 日	平成 21年 9月 30日						
対 象 期 間	平成 21年度 ~ 平成 23年度						
病院の現状	病 院 名	新潟県立リウマチセンター					
	所 在 地	新潟県新発田市本町1-2-8					
	病 床 数	一般:100床					
	診 療 科 目	リウマチ科、リハビリテーション科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>リウマチ専門病院として、患者さんのニーズに合った優しい医療を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内初の県立リウマチ専門病院として医療機能を充実し、先進的で専門的な医療提供を図る。 ・回復期リハビリテーション病棟を提供する。 ・地域の医療・保健・福祉施設と連携を密にし、在宅医療を支援する。 ・リウマチ医学への研究・教育・啓発での貢献を目指す。 ・患者への安全で優しい医療を提供する。 ・職員全員が効率的な病院運営に努め、経営の安定化を図る。 						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>効率的な運営を行った上で、病院負担が困難な経費や病院負担とすることが適当でない経費について、一定の基準に従って県の一般会計が負担する。</p> <p>(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ専門病院の運営にかかる不採算額 ・高度医療器械利息分 						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	102.7	140.0	100.0	100.0	100.0	
	職員給与費比率	86.6	76.6	65.2	65.2	65.2	
	病床利用率	87.5	88.7	90.0	90.0	90.0	
	医業収支比率	72.1	78.2	87.7	88.5	90.5	
上記目標数値設定の考え方	<p style="text-align: center;">平成21年度当初予算をベースに設定</p> <p style="text-align: center;">(経常黒字化の目標年度: 年度)</p>						

					団体名 (病院名)	新潟県 (新潟県立リウマチセンター)	
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	備考
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	BSC(バランス・スコアカード)を活用した戦略的マネジメントシステムの導入				
		事業規模・形態の見直し					
		経費削減・抑制対策					
		収入増加・確保対策	<p>県立新発田病院との病病連携による回復期リハビリテーション病棟の病床利用率の向上を図る。</p> <p>地域医療連携によるリウマチ患者への生物学製剤の導入を促進し、入院患者数の増加を図る。</p>				
		その他					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	64.2%	19年度	87.5%	20年度	88.7%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成18年11月移転開院(旧県立瀬波病院)					

団体名 (病院名)	新潟県 (新潟県立リウマチセンター)
--------------	-----------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	県北医療圏の公立病院()内数値は、合計病床数) [新発田市] 県立リウマチセンター(100)、県立新発田(478) [村上市] 県立坂町(150)		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	公立・公的病院のそれぞれの役割を明確化し、機能分担・連携を推進する。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> リウマチ専門病院として、リウマチ学における本県のセンター機能を発揮する。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合		
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に) 討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行		
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県病院局ホームページ上で公表 各病院における取組や収支見込みについては、四半期ごとに点検し、必要に応じて修正を加えることとしている。		
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	四半期ごとに点検・評価を行う。		
その他特記事項				

(別紙)

団体名
(病院名)新潟県
(新潟県立リウマチセンター)

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
収	1. 医業収益 a	1,194	1,131	1,313	1,386	1,386	1,386
	(1) 料 金 収 入	1,153	1,103	1,279	1,356	1,356	1,356
	(2) そ の 他	41	28	34	30	30	30
	うち他会計負担金	19					
	2. 医業外収益	619	543	1,071	222	200	164
	(1) 他会計負担金・補助金	612	529	1,062	207	191	155
	(2) 国(県)補助金						
	(3) そ の 他	7	14	9	15	9	9
	経常収益(A)	1,813	1,674	2,384	1,608	1,586	1,550
	入	1. 医業費用 b	1,800	1,568	1,679	1,580	1,566
(1) 職員給与費 c		1,157	979	1,006	903	903	903
(2) 材 料 費		351	233	350	330	330	330
(3) 経 費		218	188	193	211	199	199
(4) 減価償却費		52	160	121	121	119	84
(5) そ の 他		22	8	9	15	15	15
2. 医業外費用		71	62	24	28	20	19
(1) 支払利息		58	49	11	9	6	5
(2) そ の 他		13	13	13	19	14	14
経常費用(B)		1,871	1,630	1,703	1,608	1,586	1,550
経常損益(A)-(B)(C)	-58	44	681	0	0	0	
特別損益	1. 特別利益(D)			67			
	2. 特別損失(E)			710			
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	-643	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	-58	44	38	0	0	0	
累 積 欠 損 金 (G)	975	931	893	893	893	893	
不良債務	流動資産(P)						
	流動負債(Q)						
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(R)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(S)						
	不良債務(T)						
差引 {(Q)-(S)}-{(P)-(R)}	0	0	0	0	0	0	
単年度資金不足額(U)							
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	96.9	102.7	140.0	100.0	100.0	100.0	
不良債務比率 $\frac{(T)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	66.3	72.1	78.2	87.7	88.5	90.5	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	96.9	86.6	76.6	65.2	65.2	65.2	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額(H)							
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率							
病 床 利 用 率	64.2	87.5	88.7	90.0	90.0	90.0	

()N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	新潟県 (新潟県立リウマチセンター)
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	225	399	2	3	5	5
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	60					
	4. 他会計借入金		39				
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金	229					
	7. その他	1	1	178			
	収入計(a)	515	439	180	3	5	5
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)						
	前年度許可債で当年度借入分(c)						
純計(a) - {(b) + (c)}(A)	515	439	180	3	5	5	
支 出	1. 建設改良費	474	13	4	3	6	6
	2. 企業債償還金	153	575	274	263	70	41
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
支出計(B)	627	588	278	266	76	47	
差引不足額(B) - (A)(C)	112	149	98	263	71	42	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	112	149	98	263	71	42
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計(D)	112	149	98	263	71	42	
補てん財源不足額(C) - (D)(E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)							
実質財源不足額(E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。

2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収益的収支	(960)	(1,792)	(4,991)	(663)	(610)	(496)
	630,989	528,825	1,061,812	207,092	190,754	154,865
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	60,058	0	0	0	4	4
合計	(960)	(1,792)	(4,991)	(663)	(610)	(496)
	691,047	528,825	1,061,812	207,092	190,758	154,869

(注)

1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。